



平成 18 年 8 月 15 日

各 位

会 社 名 : 株 式 会 社 省 電 舎  
代 表 者 名 : 代 表 取 締 役 社 長 中 村 健 治  
( コ ー ド 番 号 1 7 1 1 東 証 マ ー ズ )  
問 合 せ 先 : 取 締 役 管 理 部 部 長 嘉 納 毅  
( T E L 0 3 - 3 4 2 3 - 0 0 0 4 )

### 通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 9 月期 (平成 17 年 10 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日) の業績予想について、平成 18 年 5 月 16 日付「平成 18 年 9 月期 中間決算短信」にて公表した予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 平成 18 年 9 月期通期業績予想の修正 (平成 17 年 10 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

##### ( 1 ) 通期連結業績予想の修正

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 ( A )	4,300	224	120
今回修正予想 ( B )	4,100	200	150
増減額 ( B - A )	200	424	270
増減率 ( % )	4.7	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 9 月期)	-	-	-

当期より連結業績予想を開示しておりますので、前期実績は記載しておりません。

##### ( 2 ) 通期個別業績予想の修正

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 ( A )	2,300	209	114
今回修正予想 ( B )	1,300	200	150
増減額 ( B - A )	1,000	409	264
増減率	43.5	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 9 月期)	1,606	41	118

## 2. 修正理由

### (1) 連結業績

当社グループは、当社と当期より連結子会社となったファシリティ パートナーズ株式会社(旧商号株式会社東京サポート社)の2社で構成しております。ファシリティ パートナーズ株式会社は昨年4月より新規事業として、物流業務のアウトソーシングを請け負う、ロジスティクスサポート事業を開始いたしました。新事業開始初年度ではありますが、本事業が堅調に推移したことに伴い、子会社の売上高は当初予測と比較し、大幅に上回る結果となりました。

しかしながら、連結業績は後述の個別業績の大幅修正に伴い、売上高 4,100 百万円(当初予測 4,300 百万円)、経常利益 200 百万円(当初予測 224 百万円)、当期純利益 150 百万円(当初予測 114 百万円)となる見込みとなりました。

### (2) 個別業績

当社は、エスコ事業の推進により、エネルギー・ソリューション・サービスを提供しております。

エスコ事業は導入によりエネルギー・コスト削減と同時に地球温暖化ガス削減に寄与するビジネスモデルであります。昨年2月の京都議定書の発効と4月の東京都環境確保条例改正の施行、本年4月の省エネルギー法改正にも見受けられるようにわが国における環境保全への法制が徐々に整備されつつあります。一方で現況の法制においては即効性のある施策を講じられておりません。

このような状況の中、当社の主力事業であるエスコ事業の展開において、受注状況に改善が見受けられるようになりましたが、前期末における問い合わせ案件に対する対応が当社の人員では対処できないほどのものであり、積極的な採用活動を行い人員確保したものの、当期において見込んでいたほどの成約に至らず、当初予測売上高 2,300 百万円が大幅に減少し 1,300 百万円にとどまり、1,000 百万円が減少する見込みとなりました。また、積極的な採用活動を行い人員不足の解消に努めると同時に新製品および新削減手法の開発に投資した結果、経費負担が増大し、経常損失 200 百万円、当期純損失 200 百万円となる見込みとなりました。なお、足元の受注残は好調に推移しております。

## 3. 平成 18 年 9 月期 配当予想の修正(平成 17 年 10 月 1 日~平成 18 年 9 月 30 日)

### (1) 配当予想の修正

	中間期	期 末	年 間
前 回 発 表 予 想	-	3,000 円 00 銭	3,000 円 00 銭
今 回 発 表 予 想	-	0 円 00 銭	0 円 00 銭
(ご参考) 前 期(平成 17 年 9 月期)実 績	-	6,500 円 00 銭	6,500 円 00 銭

## (2) 修正の理由

当社は、経営基盤の強化を図るため内部留保を確保しつつ、会社業績の動向に応じて、株主への安定した利益配当を実施していく方針であります。前期におきましては上場記念配当を含み、1株あたり6,500円の配当を実施いたしました。当期は前述したとおり、当期純損失を計上する見通しとなったことから、誠に遺憾ながら当期の配当につきましては、上記のとおり無配とさせていただく予定であります。

株主の皆様には、深くお詫び申し上げますと共に、今後、早期復配を目指して努力してまいり所存でございますので、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 4. 今後の見通し

当社グループは、エスコ事業とファシリティマネジメント事業の融合を図り、サービスの拡充を行ってまいります。

その一環として子会社とのコミュニケーションロスを軽減し、サービスの融合を実現するべく、今月、中央区に当社と当期より連結子会社となったファシリティ パートナーズ株式会社(旧商号 株式会社東京サポート社)と共用する統合オフィスを開設いたしました。

来期以降、当期に発生した人材不足は解消するものと見込んでおり、さらに子会社との人材交流も積極的に行うことで、当社グループの有する環境ソリューションサービスを進化させて参る所存であります。また、先般発表いたしました海外での事業展開とあわせ国内における既存顧客に対するファシリティマネジメント事業の提案を実施し、当社グループにおける事業規模を拡大して参ります。

以 上

業績予想に関しましては現時点で入手可能な情報に基づき当社にて判断したものであり、リスクや不確定要素の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の予測とは異なる可能性があります。